建築土木工学科

キーワード	ウィトルウィウス、ドイツ建築、森田慶一、増田友也、建築論、京都学派 戦後建築史、五十嵐直雄、公共建築、住まい、福井県

教授 / 博士（工学）
市川　秀和
Hidekazu Ichikawa

学歴

国立石川工業高等専門学校 建築学科、豊橋技術科学大学 工学部 建設工学科
福井大学大学院 工学研究科 修士課程、福井大学大学院 工学研究科 博士後期課程

経歴

福井大学工学部助手、福井県立大学・金沢大学・金沢工業大学非常勤講師
福井工業大学准教授／日本建築学会奨励賞（論文、2002年）

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

日本とドイツの歴史的建造物、建築図面・史料等の学術調査に関する相談と講演、伝統的住居と戦後建築・都市史の調査研究、建築・芸術・哲学・宗教・民俗等をめぐる学際的研究

メールアドレス

hidei@fukui-ut.ac.jp

主な研究と特徴

「ウィトルウィウス と 18 世紀ドイツ建築思潮研究」（図１）

世界最古の建築書として現在広く知られるウィトルウィウス Vitruviusの『建築十書De architectura libri decem』とは、古代ローマ時代の初期にラテン語で纏められたものであり、15世紀のルネサンスには、レオナルド・ダ・ヴィンチも愛読するなど知識人にとって重要であった。18世紀にテキスト･クリティークが進展し､その後のドイツにて最も信頼される校訂本（1867）が出版され､建築界の「聖書」と呼ばれた。このような経緯を踏まえ、18世紀ドイツ建築思潮からみたウィトルウィウスを検証し、その現代的意義をめぐってテキスト解読を試みている。

「森田慶一 と 増田友也を中心とした 建築論の京都学派研究」（図２）

大正９年創設の歴史を持つ京都大学工学部建築学科は、武田五一を中核として独特な研究教育の知的原風景を創り出した。さらに大正・昭和初期から戦後にかけて森田慶一と増田友也を中心にした教員と学生の密接な人間関係とともに、文学部哲学科への積極的関わりによって創造的な学際知のネットワークが生み出され、所謂「建築論」の京都学派と呼ばれるようになった。なおその建築論の基礎となったのが、森田慶一によるウィトルウィウス建築書の邦訳研究であり、こうした建築論の京都学派の形成史と現代的可能性を追究している。

「福井県の戦後建築・都市史に関する建築論的研究」（図３）

戦後の福井市は、「戦災都市」と呼ばれる全国115市町村の一つであるが、敗戦末期の大空襲だけでなく、その直後の昭和23年6月に大地震が追い打ちをかけたことから、全国的に見て極めて特異な復興期の歴史を刻まねばならなかった。その復興事業の「建築」部門を担ったのが、地元福井出身の建築家･五十嵐直雄であった。五十嵐は、福井市内を中心に「公共建築」設計を通して戦後復興事業に多大な貢献を果たした。その五十嵐の代表作「福井神社1957」や「福井市体育館1959」等を通して、福井市の戦後建築史に関する建築論的研究を進めている。

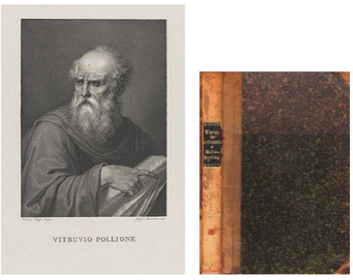

図1. ウィトルウィウス と 世界最古の建築書（1867）

図2. 増田友也・森田慶一
と 拙著『「建築論」の京都学派』（2014）

図3. 戦後福井の復興 と 五十嵐直雄の「福井神社」（1957）

今後の展望

ウィトルウィウス建築書の入門書出版
この２千年前に纏められた世界最古の建築書は、大部の難解な内容であり、現在から見て全ての内容が必要なものではない。そこで欧米を参考にして、専門家から学生までを対象とした、このコンパクトな入門書の編集出版を目指して着実な準備を進めている。

建築論の京都学派 と ドイツ・シュトゥットガルト建築学派
京都大学を拠点とした建築論の京都学派研究をいっそう進展させるために、ドイツ・シュトゥットガルト建築学派（Theodor Fischer、Paul Bonatz、Paul Schmitthenner）との国際比較を通して､伝統的な学術研究の継承発展に関する現代的意義を考察する。

五十嵐直雄・谷口吉郎・吉田鉄郎にみる「北陸の建築家」研究
北陸３県の戦後建築史に着目するとき、福井の五十嵐直雄、石川の谷口吉郎、富山の吉田鉄郎が最も代表的な建築家である。この３名の比較研究をとおして「北陸の建築家（像）」の特色を究明する。

所属学会

一般社団法人　日本建築学会会員	（1993年～現在、福井支所幹事）
建築史学会会員	（1997年～現在）
北陸都市史学会会員	（2001年～現在、副会長）
北陸宗教文化学会会員	（2000年～現在、理事・事務局）
建築論研究会会員	（2018年～現在、編集委員）
福井の建築論研究会会員	（2013年～現在、代表）

主要論文・著書

市川秀和「ウィトルウィウスとギリシアのドリス式オーダー」
『建築制作論の研究』中央公論美術出版（2016年）311－330
市川秀和「越前の民家にみる仏間について」
北陸都市史学会誌 24（2018）1－8
『建築家・五十嵐直雄 と 真壁の意匠』市川秀和・朝日海秀 編
（基礎研究資料 2019年、福井工業大学市川研究室）
『「建築論」の京都学派』市川秀和著　近代文藝社
（2014年、第２版 2015年、ISBN 978-4-7733-7966-2）